

1 じつばの知識

学習日 /

1 次のそれぞれの問いに答えなさい。

(1) 次の①・②の——線部に用いる漢字は、①「温」、②「誤」です。これらの漢字に正しく送り仮名をつけなさい。
〈宮城—前期〉

① あたたかい紅茶を飲む。

① 温

② 誤

② あやまりを正す。

(2) 次の——線部「コウ築」の片仮名の部分を漢字で書いたものと、あとの波線部(〰)を漢字で書いたもの同じになるものを一つ選び、記号で答えなさい。
〈京都—中期〉

〈世や民のことはさておき、あり得るだけの予算を投入して、自分の晩年の居場所をコウ築したのである。〉

ア 今年の正月は雪が**つ**つた。

ウ 指揮者の合図で楽器を**か**か**ま**えた。

イ 雲ひとつない青空が**す**きだ。

エ 久しぶりに畑を**た**が**や**した。

(3) 次の文章は、「将来」の「来」という漢字の成り立ちについて説明したものです。A・Bに入る最も適切なものを、AはあとのI群から、BはあとのII群からそれぞれ選び、記号で答えなさい。
〈京都—前期〉

「来」という漢字は、ものの形をかたどっているという成り立ちから、一般的にA文字に分類される。その他にA文字に分類される漢字としてはBなどがある。

- I群〔ア 象形 イ 指事 ウ 会意 エ 形声〕
 - II群〔カ 鳴 キ 川 ク 上 ケ 洗〕
- A □ B

(4) 次に示した漢字を楷書で書いた場合、「楽」と同じ総画数になるものをつ選び、それを楷書で書いて答えなさい。
〈和歌山〉

絵種遊源

(5) 次のそれぞれの問いに答えなさい。
〈鹿児島〉

① 次の——線部の漢字の部首名を書いて答えなさい。

国民の祝日

② 右の行書の筆使いの特徴を説明したものととして、最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア「函」は、点画の筆の運びがすべて直線的になっている。

イ「氏」は、点画の筆圧の強さがどれも一定になっている。

ウ「祝」は、点画の省略がなく文字が丸みを帯びている。

エ「日」は、点画の連続があることで筆脈が表れている。

(6) 「俳」について、次の黒塗りの部分は何画目になりますか。数字を書いて答えなさい。
〈兵庫〉

俳

(7) 「統」を楷書で書いた場合の総画数と、次の行書の漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。
〈福岡〉

ア 階 イ 極 ウ 蒸 エ 復

(8) 行書で書かれた次の漢字「復」の「つくり」と組み合わせたとき、別の常用漢字となる「へん」はどれですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。
〈山梨〉

復

ア 𠄎 イ 𠄏 ウ 𠄐 エ 𠄑